



# 白梅通信

6月号 H27.6.19 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒 989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目 4 番 26 号  
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <http://www.freimei-h.myswan.ne.jp>

## コーラス部が各方面で歌声披露♪♪



5/17 コボスタにて国歌斉唱



5/27 県民ロビーコンサート



5/31 宮城県合唱祭

去る 5 月 17 日（日）コボスタ宮城にて、東北楽天ゴールデンイーグルスよりオープニングの国歌斉唱の依頼があり、古川黎明高校コーラス部による国歌斉唱が披露されました。当日は対千葉ロッテマリーンズ戦、1 点を追う 8 回、楽天が 3 対 2 と逆転勝ちし、黎明高コーラス部が勝利の女神となりました。また、5 月 27 日には県民ロビーコンサートがあり、県庁 1 階にて昼休みのひとときを美しい歌声で和ませてくれました。

他にも 5 月 31 日には宮城県合唱祭にて E グループ特別賞を受賞、6 月 7 日みやぎ高校合唱祭に参加するなど、各方面での活躍がみられました。

## 福祉委員と生徒会がネパール震災募金



去る 5 月 26 日～28 日にかけて、福祉委員と生徒会、中学校福祉委員会が協力して“ネパールを救おう”と朝の募金活動を行いました。

高校生はもちろん、中学生からも多くの募金があり、さらには「昔ネパールの人にお世話になった」という保護者から 1 万円の募金を頂くなど、合計 33,552 円が集まり、ユニセフを通じて支援いたしました。

## SSH「歴史研究から災害にアプローチ」

去る 5 月 28 日（木）14:30～15:50、本校アリーナにおいて、中・高の全校生徒を対象に、宮城学院女子大学学長の平川新先生をお迎えして、SSH 科学講演会が開催されました。また、講演に先立ち、昨年度の「サイエンス・エクスペディション」アメリカ研修



（3 月 3 日～9 日）に参加した生徒 8 名による報告会もありました。

講演会は「歴史研究から災害にアプローチする」と題して、「Ⅰ自然と人間」「Ⅱ歴史の中の災害」「Ⅲ過去の津波を復元する」「Ⅳ地震もないのに津波が来た」「Ⅴ日本は世界史のなかでどういう国だったのか?」「Ⅵ『ずんだ』から読み取る災害文化」と、6 つのテーマについてお話をいただきました。生徒からは「人間の力を過信してはいけない」などの感想も出ていました。

## SS総合 I プロローグ講演会開催

6月2日(火)東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔先生をお迎えして、1年生を対象に「SS総合Iプロローグ講演会」が開催されました。

「SS総合I」とは1学年が総合的学習の時間を通じて「災害地域科学」という学習テーマのもと、一人一人が課題設定を行い、課題研究を進めていくもの。今回の講演会テーマは「災害・防災・減災の科学とは何かー『実践的防災学』的な課題研究に向けて」。石巻市や亘理町の具体的な取り組み等を紹介しながら、減災に向けたお話をいただきました。



## 先輩大学生等による大学セミナー



5月27日(水)、3年生を対象に、NPO法人ハーベストの協力により、進路目標達成のための「大学セミナー」が行われました。当日は学生27名を講師に迎え、それぞれの進路別に現在学んでいる分野や学校、学部の話をはじめ、それぞれ個人の進学選択でのエピソードとアドバイスをいただきました。自分の進路に向けてより良い選択をするための知識を得る機会となりました。

## 大学・専門学校・就職進路ガイダンス



6月11日(木)午後、3年生を対象に進路別ガイダンスが行われました。まず、最初に、「ラジオキャンパス」でおなじみのキャンパスネットワークオフィスの納谷正基氏による「学校選択について」の講話の後、大学、専門学校関係者約30名をお迎えして進路別ガイダンスが行われました。生徒はそれぞれ20分ずつ3回に渡って知りたい大学・専門学校を巡り、自分の進路に合う学校探しに向かって熱心に聞き入っていました。